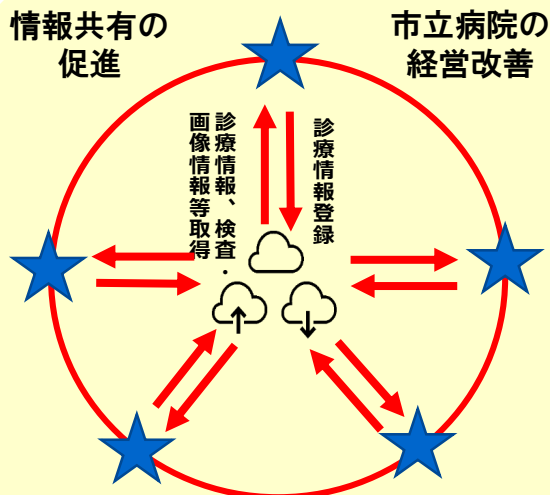


★ 市立医療施設 + 県立病院 ⊕ 民間医療施設

ステップ1

市立医療施設のネットワーク化

R6~R7

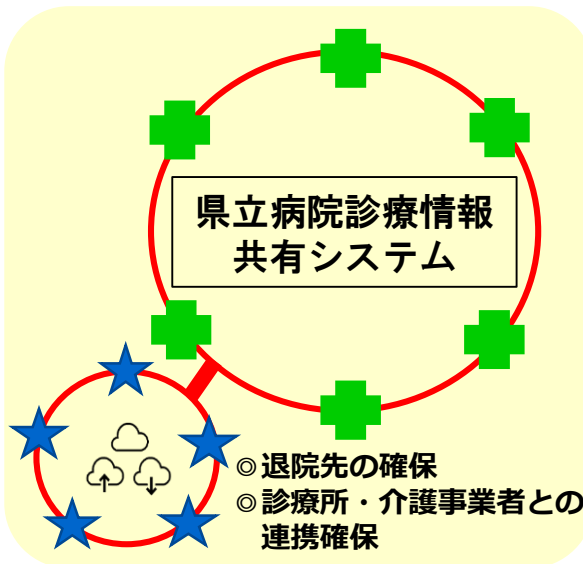


- ◎行政DXの機能も絡め、守秘性が高く、利用者の利便性も高い仕組みを作る
- ◎施設内での職員の最適配置や意識改革、情報共有の促進、DXの導入による業務改善など、患者満足度の向上と経営改善を目指す

ステップ2

県の医療ネットワークに接続
既存クラウドネットワークの活用

R7~R8

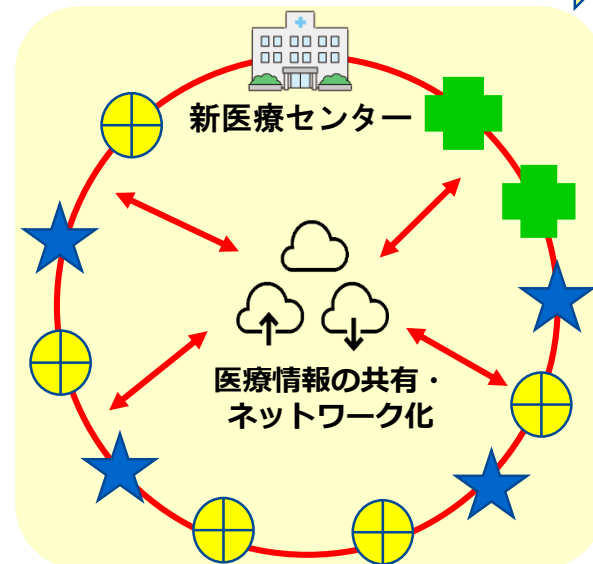


- ◎市と県の医療ネットワークを接続し、公立病院全体のネットワークを確立
- ◎ネットワーク化により、退院先の確保が円滑に進む
- ◎診療所と介護事業者との連携を確保

ステップ3

民間医療施設の参加により
地域医療奥州市モデルの本格稼働

R8~R10



- ◎民間病院もネットワークに参加。公立と民間病院とのデータと人的連携強化により、地域医療全体での医師不足の解消や経営効率化に寄与できる仕組みにする

【連携する機能例】 病床利用率・空床情報の共有化、転院調整機能、入退院支援

【連携する情報例】 受診歴、傷病名、処方、注射、検体検査結果など、県の診療情報共有システムと同内容